マルシェとサロンでつなぐ地域交流

特集3

西条市

㈲湯之谷温泉
代表取締役 女将
藤田　和千恵

湯の谷マルシェのはじまり

「じゃあ、ここでやったら？」

自分たちの商品を地域の人たちに知ってもらう『場』と『チャンス』が少なかった4年前、《場所提供が可能な湯之谷温泉を有効活用してもらえるなら！》と、2014年9月7日㈰、この一言から湯の谷マルシェは始まりました。野菜、せんべい、焼き菓子でわずか4店でのスタートです。

旅館業を営むうち、西条市には魅力的な素材がたくさんあることに気付きました。そしてそれらがまだまだ埋もれていることにも。豊かで美味しい水があり、それを活かした拘りの農産物があり、ライン生産では表現できない温かい手作り作品の作家さんもたくさんいます。《身近にありすぎて空気のように在るのが当たり前で見逃しそうになるものの中に地域の大切な財産が眠っている。もったいない。少しでも多くの人に知ってもらいたい。》以前から持っていたその想いが形になりはじめるきっかけとなった瞬間です。

湯の谷マルシェの様子

西条市と湯之谷温泉

西条市は霊峰石鎚山の恩恵を受け、《うちぬき》の水が美味しいことで有名なまちです。石鎚山系の伏流水《うちぬき》で育つ野菜や果物、作られる日本酒は美味く、はだか麦は日本一の生産量を誇っています。

その西条市に位置する《湯之谷温泉》の歴史は約1400年。伊予の三古湯のひとつと言われ、斉明天皇が入湯された記録が残っています。

江戸時代の文献（郷土史研究の宝典）『西条誌』には、『西条藩奉行の竹内立左衛門が、湯之谷と称する処に自噴する泉水を霊泉水として加温し、湯治に利用した。』と病気怪我治療に用いたことが書かれています。明治時代には1等湯・2等湯と別れた浴場ができ、旧西条市内や遠方からは人力車で通うという、高級な温泉時代がありました。大正元年に公衆浴場としてオープンし、これが現在の『湯之谷温泉』の始まりです。

入湯宿泊の便をはかるために、温泉を取り込んだ湯治宿が建設され、療養泉として親しまれ、戦後からは米を持参して湯治に行くという独特な時期も経ながら今のスタイルへと至り、大正元年から今年で107年目を迎えています。

『細くてもいいから長く続けられるマルシェにしよう！』

湯の谷マルシェをスタートするにあたって決めたルールは、《自分の手が加わった手作り品》であることと《絶対無

理をしないこと》の2点のみです。細くてもいいから、気持ちよく楽しめてくつろげるマルシェ空間を長く維持できるようにと決めました。出店する側も地域の人であって、お客様も地域の人です。出店者が無理をすれば、来てくださるお客様にそれが伝わるから、だから無理はしない。出店場所もブースで区切らない。好きな場所に好きな形でディスプレイする。自由だからお互いに協力連携することができキラキラしていて、それがお客様にも喜んでいただけることに繋がると思っています。

まもなく5年目を迎える今、地元農家さんの顔が見える安心新鮮野菜、地元作家さんによる手作り雑貨やワークショップ、日ごろの疲れを癒すリラクゼーションの取組み（整体等）など、毎月14～16の出店があり、賑わっています。振り返るとあっという間で、もう5年目になるんだ！というのが素直な感想です。そして、続けられていることへの感謝と共に感慨深いものがあります。

ワークショップ

平成30年1月、物を売るだけの場から交流の場へ

湯の谷マルシェは新しい形へ進化しようとしています。

3年前から、湯の谷マルシェで《日本一の生産量を誇る西条市の七草》を地元農家さんの協力のもと、湯之谷温泉の料理長が調理し、《七草粥の振舞い》を行っております。足湯に浸かりながら、また、和室でくつろぎながら食する七草粥は好評で、その七草粥の振る舞いから発展して、今年1月、交流の場として《湯の谷サロン》が誕生しました。

七草粥の振舞い

地域の資源を活用した体験型・交流型の要素を取り入れ、地域活性化の一端に貢献していきたいとの想いで始めました。

『温泉文化』の原点に返ったとき、温泉は古くから身近な存在として親しまれ、心とからだを温め、疲れやストレスを和らげ、そして深い安らぎ、解放感を味わえる場でした。もともと人々が集い情報交換し、くつろぐ場であったことを考えると、湯の谷サロンは、温泉地の原点に返り、なるべくしてなった形であるとも言える気がします。

屋内で開催することができ天候に左右されない安心なマルシェであったこと。和室休憩室通路入口、あらゆる空間を自由に使えることも、マルシェと共にサロンにも発展できた要因で武器になっていると思います。

《七草粥の振舞い》から始まり、《ベビー用品譲渡会》《ステップアップお名前講座》《ママのためのリフレッシュヨガ》《無料骨密度測定会》などなど、試行錯誤しながらではありますが、これからも新しい交流の場として、健康や明日への活力の場としても地域のみなさんに喜んでいただけるお手伝いができれば幸いです。

ママのためのリフレッシュヨガ

硬筆お名前練習